

平成24年度 実施メニュー実施結果表

No. 104 (当初計画: No. -)

東北森林管理局

取組名	民・国連携した最新型高性能林業機械による低コスト作業システム等に係る研修会の開催 (新規)
流域名	置賜流域
重点事項番号	②-21、③-31
実施箇所及び実施日	山形県西置賜郡小国町大字大滝国有林及び室内研修 平成24年10月16日
取組の背景及び必要性	林業の生産性を高めるため、施業の集約化、路網の整備と機械化の促進を図り作業の効率化を高めることが必要であり、生産性の向上が期待される高性能林業機械による森林作業システムを紹介し、地域の低コスト作業システムを促進するため。
取組の内容	研修は山形県林業・木材産業再生協議会と共催し、山形県、市町、林業事業体を参集して実施した。 林業の生産性を高めるため、施業の集約化、路網の整備と機械化の促進を図り作業の効率化を高めることが必要であるが、作業道開設と支障木伐倒が1台で行える高性能林業機械による森林作業システムの研修を実施した。森林・林業再生プラン、民有林と国有林が連携した森林共同施業団地の設定、路網整備の必要性や施工規格、高性能林業機械(フェラバンチャーザウルスロボ)による森林作業システム等について説明した。現地研修では、間伐作業地において同機械による伐倒・掘削等の実演・実習を行った。
国有林担当部局・役割	森林管理局販売課、各署 (企画、実行、協力)
連携協働相手先・役割	山形県林業・木材産業再生協議会、県 (企画、実行、講師派遣、林業機械準備)
取組の結果、反響、今後の課題等	県内で導入されていない高性能林業機械を初めて見た参加者からは、「1台の機械で、伐倒、路網作設等を効率的に行うことができ、低コスト化に役立つ」、「導入を検討してみたい」等の声が出る等、低コストで高能率な作業システムへの関心が高まった。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR: プレスリリース、管理局広報誌への掲載 効果: 高性能林業機械の導入の増加等低コスト林業への具体的な取組の拡大が期待される。

【 参 考 資 料 】

取 組 名

民・国連携した最新型高性能林業機械による低コスト作業システム等に係る研修会の開催（新規）



フェラハンチャザウルスロボの機能、森林作業システムの説明



伐倒作業



作業道作設。
伐倒時と同じアタッチメントで掘削作業が可能。

平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 105 (当初計画: No. 108)

東北森林管理局

取組名	民・国連携した森林共同施業団地内における低コスト林業推進に向けた取組 (新規)
流域名	置賜流域
重点事項番号	①-13、②-22
実施箇所及び実施日	置賜森林管理署 平成 25 年 1 月 23 日
取組の背景及び必要性	森林共同施業団地に係る協定を小国町、(財)山形県林業公社、小国町森林森林組合、置賜森林管理署の 4 者で平成 24 年 3 月 12 日に締結し、共同化施業等より実効性を高めるため施業計画等情報交換、意見集約等を行った。
取組の内容	関係各機関が今後の路網整備計画、間伐計画(箇所・方法)等について情報交換を行い、共同化、効率化に向けて意見交換、調整を行った。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 (企画、実行)
連携協働相手先・役割	小国町、(財)山形県林業公社、小国町森林森林組合 (企画、実行)
取組の結果、反響、今後の課題等	各協定者が統合的に意思決定を行う際に必要となる図面、GIS 情報の整備の必要性が確認され、継続して情報交換を行い、低コストで効率的な路網、線形の協議を行うこととした。
PR の実施状況及びその期待する効果	森林共同施業団地の協定をしている団体へ呼びかけをすることにより、共同化・効率化に向けた協議が深まることを期待する。

平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 106 (当初計画: No. 109)

東北森林管理局

取組名	民有林と連携した森林病虫獣害対策の実施 (継続)
流域名	置賜流域
重点事項番号	③-31、⑤-51
実施箇所及び実施日	山形県南陽市水林国有林 平成 24 年 6 月 8 日
取組の背景及び必要性	置賜森林管理署では、ナラ枯れ対策として、山形県森林研究研修センター、小国町等と連携して、先駆的にナラ枯れ予防剤の樹幹注入面的防除実証試験、くん蒸薬剤注入等による駆除等を推進してきたが、被害地域の移動が見られることから、関係市町等を参集し防除対策を研修した。
取組の内容	小国町における民有林と国有林の連携によるナラ枯れ被害対策の取組を紹介するとともに、山形県森林研究研修センターから面的防除実証試験のひとつである「おとり木トラップ法によるカシノナガキクイムシの大量誘引実証試験」の説明を受けて、実際におとり木等の設置を実施した。
国有林担当部局・役割	東北森林管理局森林整備課、山形森林管理署、最上支署 置賜森林管理署 (企画、実行)
連携協働相手先・役割	山形県・(独) 森林総合研究所森林農地整備センター・米沢市外 5 市町・3 森林組合 (企画、実行)
取組の結果、反響、今後の課題等	ナラ枯れ対策が重要となっている中で、おとり木設置等を体験したことで活発な意見交換がなされ、関係者の連携が深まった。ナラ枯れ対策の一層の推進を図る必要がある。
PR の実施状況及びその期待する効果	PR: プレスリリース、実施状況が新聞報道された。 効果: 被害の拡大が想定される市町に対し、具体的な手法が伝達され、面的防除の取組が普及し、ナラ枯れ被害の抑制が期待される。

【参考資料】

取組名	民有林と連携した森林病虫獣害対策の実施（継続）
-----	-------------------------



民国連携によるナラ枯れ対策の説明



試験地の説明



おとり木等の説明

ナラ立木の黄色テープにつるしてあるものが「合成フェロモン」、下部の白いチューブにより、「殺菌剤」（通常のもの）注入



ドリル穿孔後に殺菌剤注入体験

平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 107 (当初計画 : No. 112)

東北森林管理局

取組名	森林ふれあい事業の実施 (継続)
流域名	置賜流域
重点事項番号	⑥-61
実施箇所及び実施日	山形県西置賜郡飯豊山外9国有林 平成24年6月16日 大沢外6国有林 平成24年7月29日 平成24年10月14日
取組の背景及び必要性	森林・林業に接する機会の少ない一般市民を対象にトレッキング等を開催し、国有林や森林・林業の普及啓発を図る。
取組の内容	環境問題と相まって自然志向が高まっている中において、森林・林業に接する機会の少ない一般市民を対象に公募に参加者を募り、トレッキング、自然観察等を目的に森林ふれあい事業を実施した。 各回とも、グリーンサポートスタッフに参加いただき、安全の確保、自然観察のガイドをしていただいた。 第二回では、地域のイベントと共催する形で実施した。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 (企画立案、イベントの開催)
連携協働相手先・役割	第二回は横川ダム水源地域ビジョン推進会(小国町文化協会、観光協会外で構成) (企画立案、イベントの開催)
取組の結果、反響、今後の課題等	一般市民からの、国有林の取組、森林・林業等に係る理解の醸成が図られた。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR : 関係市町の公報誌に募集要項を掲載

【参考資料】

取 組 名 森林ふれあい事業の実施（継続）



第一回
温身平森林セラピー基地－ブナ林
の散策



第二回
歴史の道百選「黒沢峠敷石道」の散
策



第三回
葉山登山、キノコを探しながらの下
山

平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 108 (当初計画 : No. 113)

東北森林管理局

取組名	保護林におけるボランティア団体等の植生回復作業等への支援・協力(継続)
流域名	置賜流域
重点事項番号	⑤-53、⑥-32
実施箇所及び実施日	米沢市 平成25年9月30日
取組の背景及び必要性	管内保護林において、ボランティア団体等による荒廃した高山植物群落や湿原の植生回復の取組等がなされており、これに支援・協力し、巡視・保全活動を推進する。
取組の内容	吾妻山周辺森林生態系地域内にある弥平衛平湿原は、多くの登山者が利用する登山道の周辺地にあり、泥炭層が流出するなど荒廃の状況にある。NPO 法人ネイチャーフロント米沢は、緑化マット・むしろの敷設、周辺から採取した種子の播種等湿原回復事業に取り組んでおり、置賜森林管理署も連携して回復事業を実施している。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 (企画、実施、法手続き)
連携協働相手先・役割	ネイチャーフロント米沢 (企画、実施)
取組の結果、反響、今後の課題等	過年度に実施した箇所において植生の回復が見られる。
PRの実施状況及びその期待する効果	ネイチャーフロント米沢が HP にて取組を紹介、市民に対し報告会を実施し、取組を紹介。

【参考資料】

取組名	保護林におけるボランティア団体等の植生回復作業等への支援・協力（継続）
	<p>事前に採取した周辺の種子の播種</p>
	<p>播種後むしろ、緑化ネットで被覆し、凍上の抑制</p>
	<p>過年度実施箇所での植生回復状況</p>

平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 109 (当初計画: No. 114)

東北森林管理局

取組名	巨樹・巨木を保全するための地域取組 (継続)
流域名	置賜流域
重点事項番号	⑤-54、⑥-62
実施箇所及び実施日	山形県米沢市 平成 25 年 7 月 5 日
取組の背景及び必要性	ナラ枯れ被害が拡大する中であって、「森の巨人たち 100 選」の「吾妻のミズナラ」とその周辺の巨木の保全を図る。
取組の内容	平成 18 年度から、「吾妻のミズナラ」及び周辺のミズナラ巨木を対象に、殺菌剤の樹幹注入等により被害予防を行ってきた。ナラ枯れ被害が拡大している中、「森の巨人たち 100 選」に選定された「吾妻のミズナラ」を保護するため、殺菌剤の注入を行った。合わせて周辺地域の被害の監視、巨木保全の呼びかけを行った。
国有林担当部局・役割	置賜森林管理署 (企画、実施)
連携協働相手先・役割	米沢市、(株)天元台 (企画、実施)
取組の結果、反響、今後の課題等	巨木の保全、「森の巨人たち 100 選」の PR、ナラ枯れ被害防止の普及
PR の実施状況及びその期待する効果	今年度は特に PR 活動は実施しなかったが、ナラ枯れ被害地域の移動により、「吾妻のミズナラ」の希少性と周辺地域を含む被害防除の必要性、気運が高まっている。

【参考資料】

取 組 名	巨樹・巨木を保全するための地域取組（継続）
-------	-----------------------



注入前の穿孔作業



参加者への薬剤、効果の説明



薬剤注入作業